



いざという時の応急処置

お問い合わせ先
消防署救急課
電話 23-3062

出血した場合

ビニール等を使用した

直接圧迫止血法



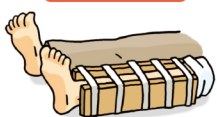
直接圧迫止血の方法



- 1 出血には原則として、直接圧迫止血をします。出血を止めるために手足を細い紐や針金で縛ることは神経や筋肉を損傷するおそれがあるので行いません。ガーゼなどが血液で濡れてくるのは出血部位と圧迫位置がずれている、または圧迫する力が足りないためです。
- 2 感染防止のため、直接血液が手に付かないように厚めのガーゼ等を用います。できるだけビニール手袋やビニール袋を使用します。血液が付いた場合は、速やかに水で洗い流しましょう。
- 3 手足を止血した場合は、患部を心臓より高く上げましょう。

打撲・骨折した場合

足の骨折



前腕の骨折



鎖骨の骨折



- 1 打撲は患部を冷やします(水で冷やすか冷湿布をはります)。
- 2 骨折は副木をして、骨折部分には触れずにそのまま固定し、動かないようにします(週刊誌・ダンボールなども副木として利用できます)。
- 3 内出血をしている場合は危険ですので、応急手当をした後、速やかに医療機関で受診してください。

やけどした場合



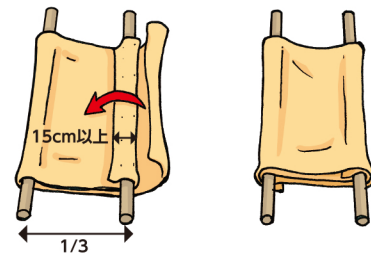
- 1 すぐに水道水などのきれいな流水で冷やします。
- 2 衣類を着ている場合は、着衣ごと冷やします。
- 3 衣類が皮膚にくっついていようなときは、無理にはがしてはいけません。
- 4 できるだけ清潔なガーゼ、タオルなどでおおいます。

搬送法

担架搬送法

●棒と毛布による応急担架

毛布を広げ、約3分の1の場所に棒を1本置き、棒を包み込むように毛布を折り返します。もう1本の棒を、折り返した毛布の上に置き、残りの毛布を折り返します。



担架を用いない搬送法

●背負って搬送する方法

傷病者の両腕を交差または平行にさせて、両手を持って搬送します。

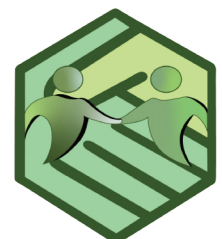


●2名で搬送する方法

- 1 傷病者の前後を抱えて搬送する方法
- 2 両手を組んで搬送する方法



令和4年度防衛省
再編関連訓練移転
等交付金事業を活用
して作成しています。



防 衛 省
(訓練移転等交付金事業)